

事業所名		ままいー（居宅訪問型児童発達支援）				支援プログラム				作成日		令和7	年	3	月	22	日	
法人（事業所）理念		ぎゅっと集い　ぎゅっとハグする　ここから始まる大きな和																
支援方針		・誰もが集まる居場所作りを目指します ・「あなたはあなたでいいんだよ」と大きな手を広げて迎えます ・共に喜び、共に悩み、たくさんの「共に」を大切にします ・一人一人の意見に耳を傾け、みんなでひとつをつくり上げます ・ここから始まり社会全体への大きな和を広げます																
営業時間		8時0分から17時0分まで				送迎実施の有無		あり　　なし										
		支　援　内　容																
本人支援	健康・生活	・児童の日々の健康管理（バイタルチェック）を行い、心身の状態を保護者・職員で把握するように努め、体調不良時は早期措置を講じる ・体調安定の下通所できるよう、小さなサインからの心身の異変に気付け、きめ細やかな観察を行い、その日の体調に合わせた活動を提供する ・心身ともにリラックスできる環境を設定し、看護職員が同行訪問する際には必要な医療的ケアの実施する（吸引、吸入、注入、酸素投与、浣腸、導尿、呼吸器管理等） ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に着ける																
	運動・感覚	・五感を刺激する遊びを通して発達を促す ・保有する感覚を十分に発揮できるよう遊びを通して支援する																
	認知・行動	・季節の行事を通して、お家で楽しい時間を過ごせる環境を整える ・遊びや製作など発達に合わせ行い、いろんなことに挑戦する ・小さな体験を少しずつ積み重ねて、楽しさや喜びを感じてもらえるような環境を整える ・「もっとやりたい！もっと遊びたい！」そんな子どもたちの成長をお手伝いする																
	言語コミュニケーション	・発声、表情、身振り、サイン等を用いて自分の意思を自分の伝達方法で伝達ができるよう支援する ・ご家族スタッフと関わる時間を積極的に設定し、コミュニケーションをとる機会を持つ																
	人間関係社会性	・ご家族との愛着形成やスタッフとの信頼関係を構築し、遊ぶ経験を通して共感性、社会性を育てる																
家族支援		・退院後や、感染症リスクにより通所が困難な児童のお家へ訪問する事により家族の負担軽減を図る ・利用児及びその支援を行う者の日常生活における支援等に関する相談及び助言を行い、必要に応じて関係機関への連携を取り持つ				移行支援		・通所の際の連携、引継ぎ ・医療的ケア児等コーディネーターや相談員、訪問看護、保健師等との連携、引継ぎ										
地域支援・地域連携		・地域の保育園やこども園との交流を行う ・地域活動への参加を行う				職員の質の向上		・ミーティング（毎日）・職員会議、ケース検討会議（月1回） ・法人合同研修（年2回）・園内研修（保育内容・役割別等） ・キャリアアップ研修・外部講師による研修 ・採用時研修(採用後1ヶ月以内)・継続研修(年2回) 職員の資質・支援に対する技術力と意識の向上を図るため、ケース会議・勉強会など施設内研修を行い、外部の各種研修会への参加や、資格習得について奨励し支援し、適切な利用者支援ができるよう、積極的に取り入れる										
主な行事等		保護者参加行事：保護者会（5月）、夏のイベント（7月）、福祉祭りステージ参加（1月） 日々の行事：季節の行事（毎月）、お誕生日会（毎月）、避難訓練（毎月※年に2回は通報訓練）																